

探究演習

メディア情報4

第2回 ディベートの方法

メディア情報コース

平居 悠（ひらい ゆたか）

到達目標

1. 大型望遠鏡建設計画の問題について自らの立場から論理的に説得力を持って説明できる。
2. 観測計画を自分の言葉でわかりやすく発表できる。
3. チームの目標を満足できる仕事の計画を協力して立てることができる。

前回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	対話の技術、ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)ロジックの検討
第5回	ディベートの準備(3)わかりやすい話し方
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表

前回の目標

マウナケア山がなぜネイティブ・ハワイアンと天文学者にとって重要な山なのか説明できる。

前回の内容

マウナケア山

ネイティヴ・ハワイアン

30m望遠鏡 (TMT)計画

TMT建設反対運動

マウナケア山

所在地：アメリカ合衆国ハワイ州

種類：楕状火山

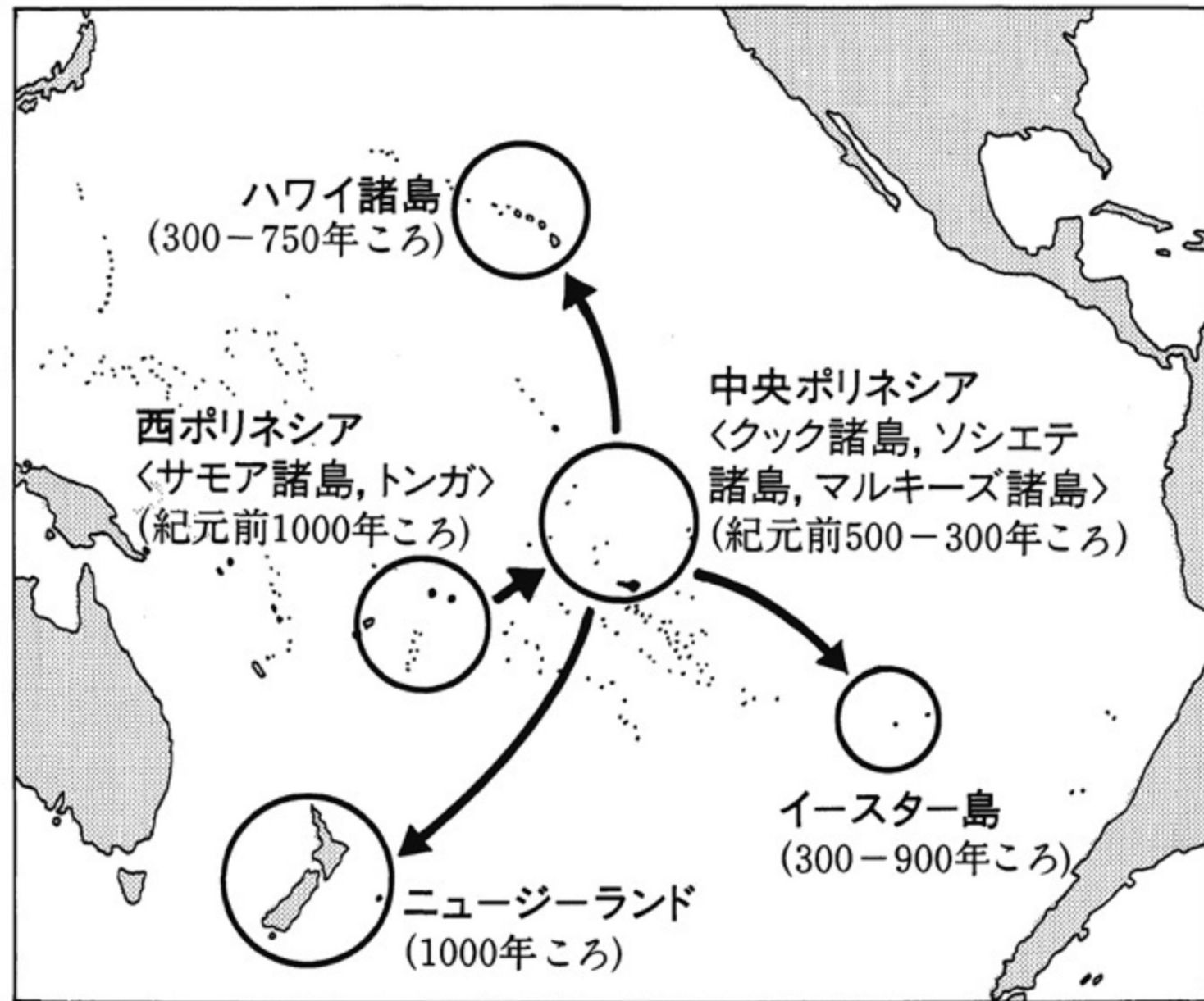
標高：4,205 m

海底にある裾野からの高さは10,203 m
で世界で最も高い山

ポリネシア文化圏

西暦300-750年頃に
ポリネシア人がハワイ
に到着

ネイティヴ・ハワイ
アンの祖先



ポリネシア人の移動

矢口祐人『ハワイの歴史と
文化：悲劇と誇りのモザイ
クの中で』中公新書 (2002)

カメハメハによる統一

1810年、ハワイ諸島 を統一

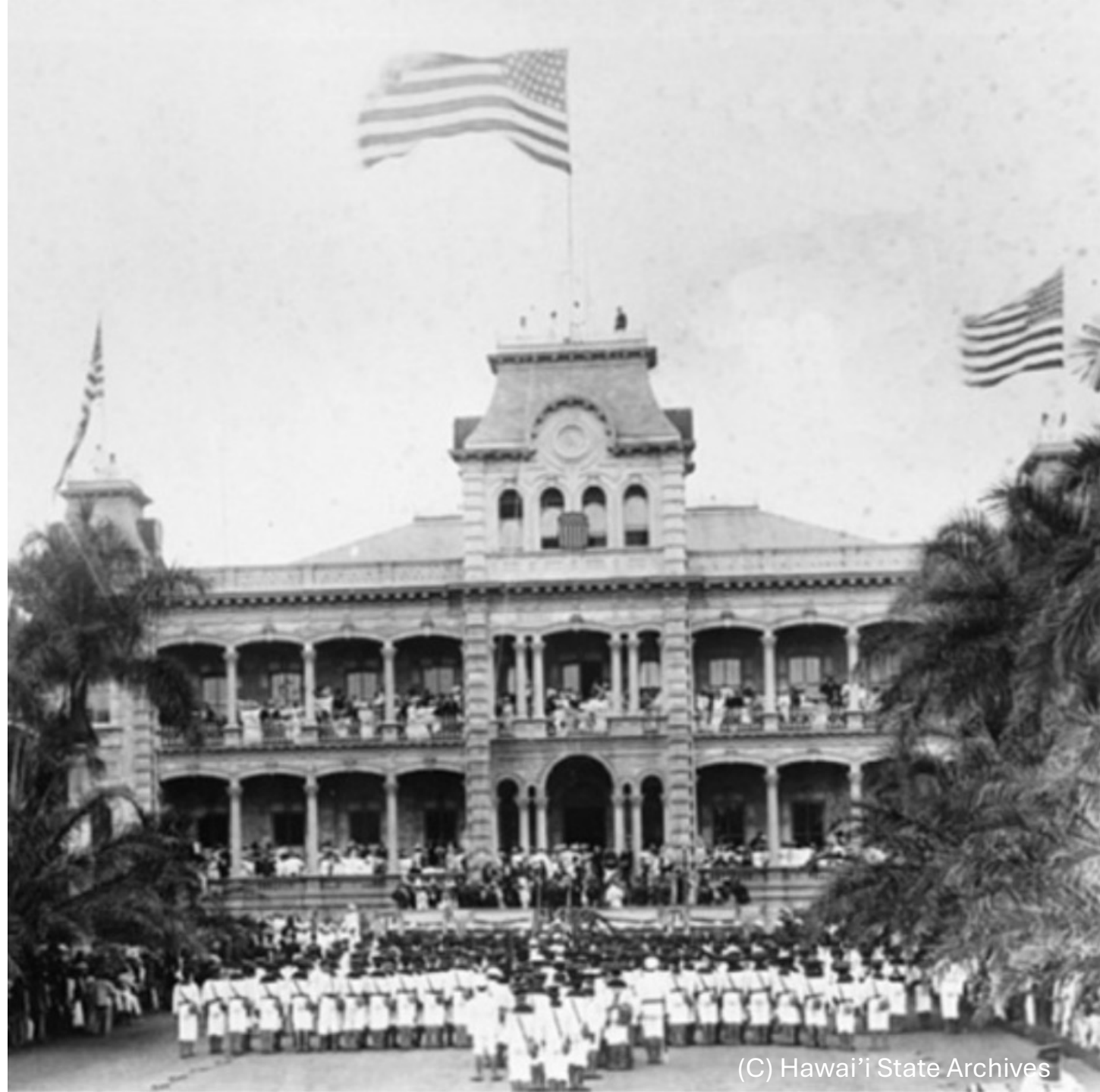
ハワイ王国成立



アメリカへの併合

1898年、アメリカ
へ併合

ネイティヴ・ハワ
イアンの圧倒的多数は反対



ヘイアウ

ハワイの神々を祀る
ための神殿

固有の宗教観が発達



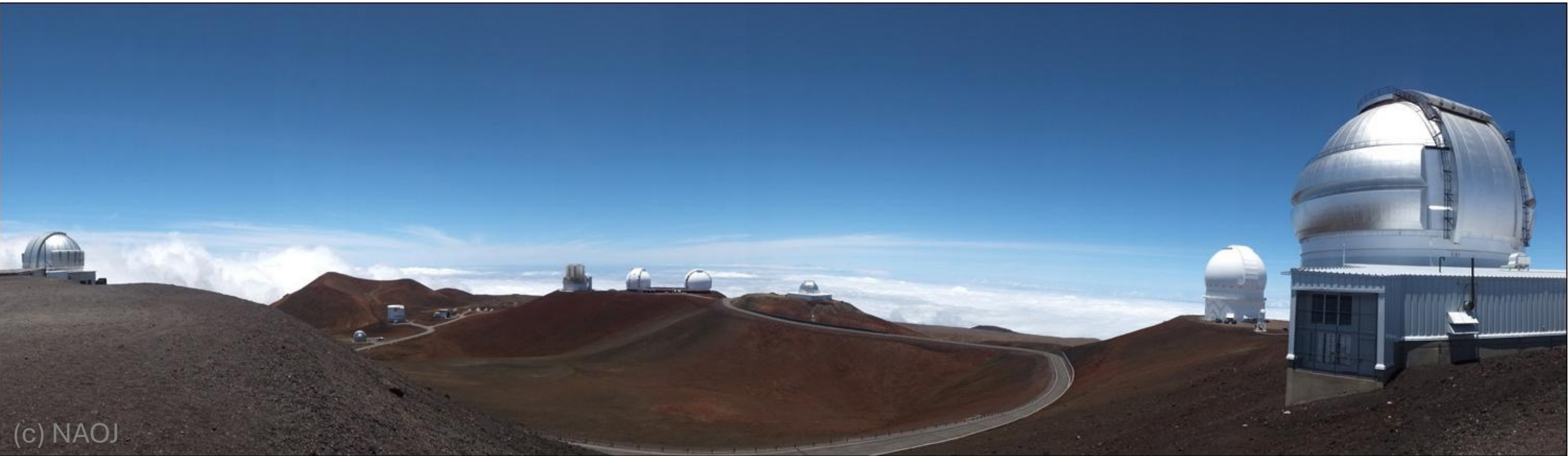
マウナケア山頂

天と地が結びつく
場としてネイティブ
・ハワイアンにと
って神聖な場所

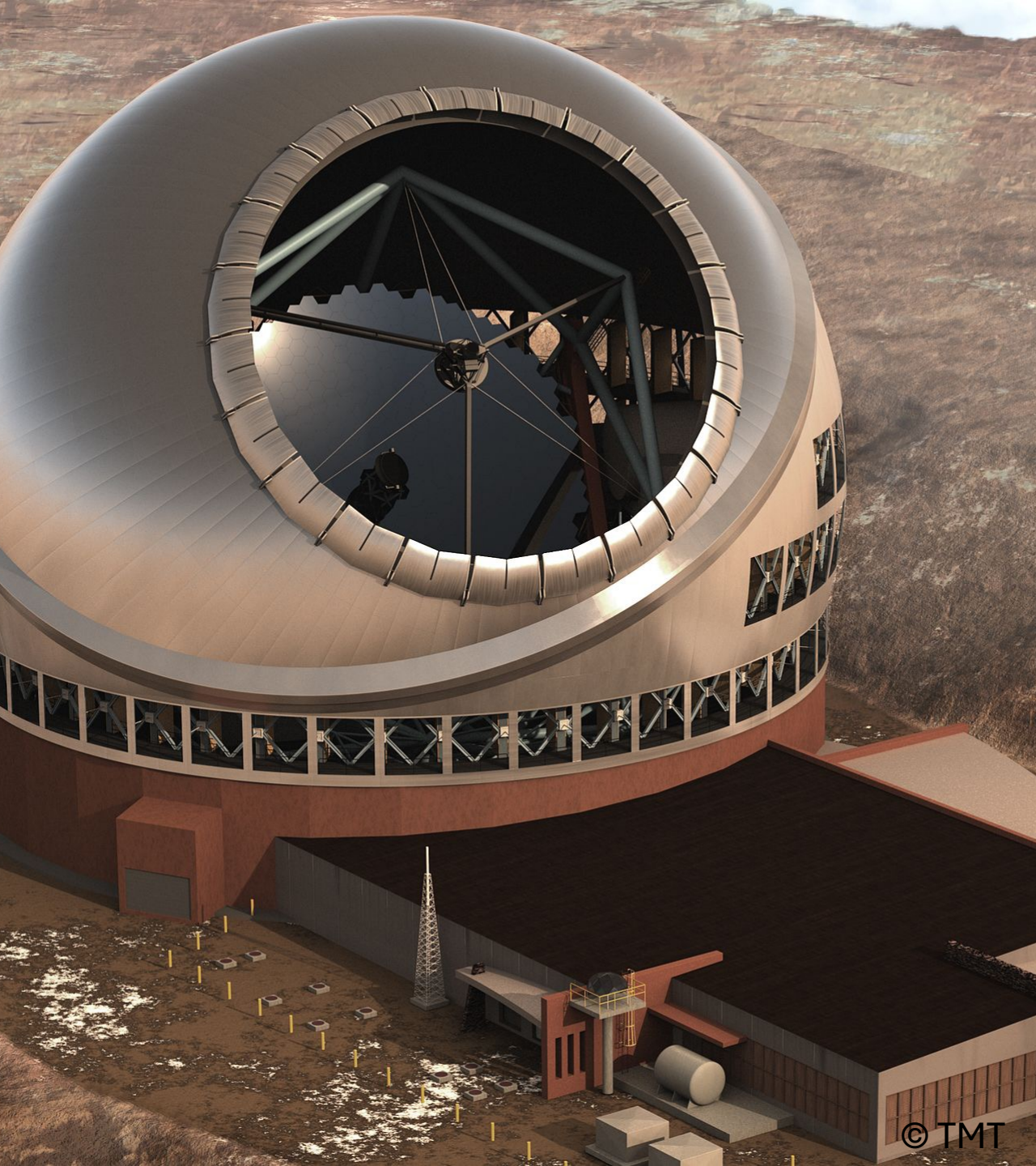


マウナケア天文台群

10基の大型望遠鏡が軒を並べる



(c) NAOJ



30 m望遠鏡 (TMT)

日本、米国などが国際
共同で進める次世代超
大型望遠鏡計画

TMT建設反対運動

TMTのマウナケア山への建設
に対してネイティブ・アメリカ
ンの一部や環境保護団体が
起こした大規模な反対運動

今回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)資料収集
第5回	ディベートの準備(3)立論の準備
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法 データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表

今回の目標

ディベートの全体像を把握する。

今回の内容

ディベートの概要

ディバートの流れ

ディベートの準備

今回の内容

ディベートの概要

ディベートの流れ

ディベートの準備

ディベートで向上する力

- | | |
|----------|--------------|
| 1.批判的思考力 | 5.傾聴力 |
| 2.論理的思考力 | 6.質問力 |
| 3.迅速な思考力 | 7.情報収集・活用力 |
| 4.口頭表現力 | 8.コミュニケーション力 |

【問題2-1】 ディベートをすることで向上する力を具体的に知ろう。

ディベートとは

一つの論題について話す。

ディベートとは

論題に対する肯定側と
否定側に分かれる。

ディベートとは

時間配分・話す順番・人数
などについての一定のルー
ルに従う。

ディベートとは

審判を論理的に説得する
ことを目的として議論を
展開する。

ディベートとは

個人的な考えに関係なく
与えられた肯定、もしくは
否定の立場から意見を
述べる。

ディベートとは

勝敗の判定が審判によって下される。

【問題2-2】 「TMTをマウナケア
に建設すべきである」という論題
のディベートの説明として正しい
ものに○を付けよう。

必要な役割

1. ディベーター
2. 審判
3. 司会
4. 時間係

ディベーター

- ディベートの試合の中で話す人。
- 肯定側と否定側の二つのチームに分かれる。
- 各チームのディベーターは話す内容によって「立論」「尋問」「第一反駁」「第二反駁」の役割に分かれる。
- これらの役割で行う発話を「スピーチ」という。

審判

- ディベートを聞いて勝敗の判定を下す人。
- 判定の理由についても述べる。

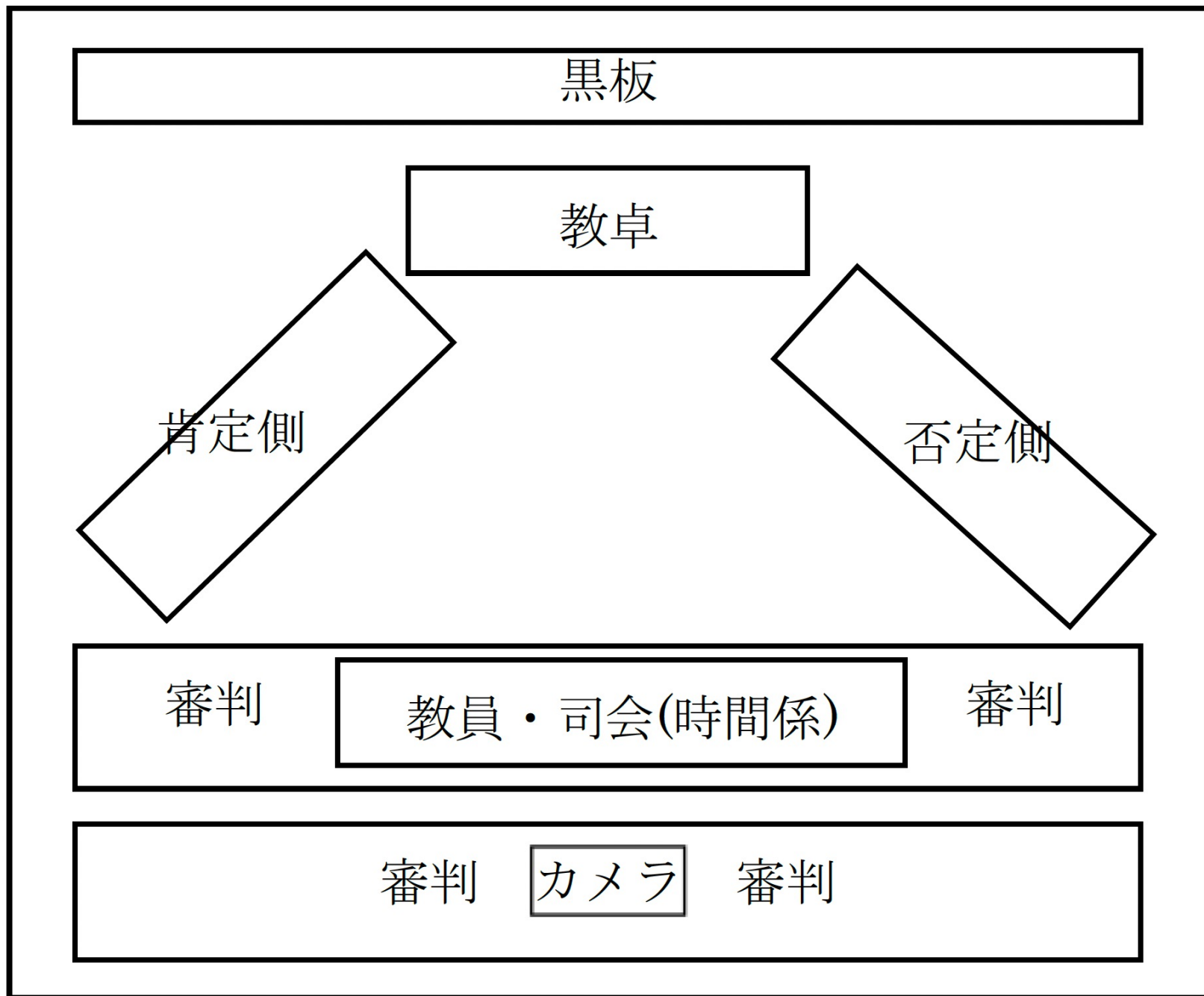
司会

- ディベートの進行を管理する役割を担う。
- 次に何が話されるかを紹介したり、規定された時間となったときにそれを告げたりする。

時間係

- 時間を管理し、司会の進行を助ける。
- 進行表に合わせて時間を測り、規定された終了時刻が来たらそれを司会に知らせる。

席の配置例



ディベートを取り入れた議論の例

刑事裁判



今回の内容

ディベートの概要

ディベートの流れ

ディベートの準備

ディベートの流れ

名称	やること	
	肯定側	否定側
1. 肯定側立論	自分たちの主張	—
2. 否定側尋問	答え	質問
3. 否定側立論	—	自分たちの主張
4. 肯定側尋問	質問	答え
5. 否定側第一反駁	—	反論
6. 肯定側第一反駁	反論・反駁	—
7. 否定側第二反駁	—	反論・反駁・総括
8. 肯定側第二反駁	反論・反駁・総括	—

立論

議論の内容を、自分たちの立場（肯定・否定）から、その立場の優位性を主張する。

肯定側立論

言葉の定義、プラン（論題を実行する具体的な方法）、メリット（プランを採択することによって生まれる利点）と根拠を提示する。

否定側立論

論題採択で新たに生じるデメリット（プランを採択することによって生まれる不利益）と根拠を提示する。

尋問（質疑応答）

相手側の立論に対して、不明な点の確認や、矛盾点の指摘をし、それに相手側が応答する。

はん ばく 第一反駁

- 相手側が話したことを引用しながら、それに対しての疑問点、矛盾点を指摘し、根拠をつけて反駁する。
- 反駁に入ってから新しいメリット・デメリットを出してはいけない。

第二反駁

ここまでの内容に関連付けながら、相手側への反駁を行った後、これまでの議論全体のまとめとして、自分たちの立場の方が相手より優位であることを説明する。

判定

審判員が勝敗を決める。

講評

審判長が講評を述べ、判定（勝敗）を発表する。他の審判員も判定とその理由を簡潔に述べる。

総評

教員が双方の良い点、改善すべき点をコメントする。

各スピーチの役割について感想を話そう

難しそう、簡単そう、面白そう、ぜひやってみたいなどと思ったスピーチはどれか？

それはどうしてか？

ディベートを体験しよう

1. 肯定側と否定側のチームに分かれる。
2. 各チームで誰がどのスピーチ（立論・尋問・第一反駁・第二反駁）を担当するかを決める。
3. モデルディベートのスク립トを見ながら、ディベートの流れに沿って、声に出して読む。

今回の内容

ディベートの概要

ディバートの流れ

ディベートの準備

論題

「TMTをマウナケアに
建設すべきである。」

論題に関するブレインストーミング

手順 1

論題について、知っていること、調べたいことなどを、各自で思いつく限り付箋用紙に書き出す。後で分類しやすいように1枚に1項目だけ書く。

論題に関するブレインストーミング

手順 2

作成した付箋用紙のメモを、グループで共有しながら、以下の項目別に分類する。

1. 論題を実行した時のメリット（肯定側）
2. 論題を実行した時のデメリット（否定側）
3. その他（現状、補足的な情報など）

論題に関するブレインストーミング

手順 3

手順 2 を参考にしながら、各自がブレインストーミング記録用紙にメモの内容を記録する。

論題に関するブレインストーミング

手順 4

ブレインストーミング記録用紙の中から、資料を検索するときのキーワードになりそうな言葉を探し、○で囲う。その他に思いついたキーワードがあったら、加筆して○で囲う。

全部で20以上のキーワードを見つけよう。

論題に関するブレインストーミング

手順 5

メリット、デメリットそれぞれの根拠となる資料を「必要な資料」に書く。今は「あったらいいな」と思う資料を検索の候補にする段階なので、実在するかどうかはまだ考えなくて良い。疑問点もあつたら、ここに書き込む。

今回の内容

ディベートの概要

ディバートの流れ

ディベートの準備

今回の目標

ディベートの全体像を把握する。

課題（資料収集）

1. 論題に関する資料を検索する。
2. できるだけ異なった観点のもの5つを選ぶ。
3. 次回の授業で自分の収集した資料一つにつき、キーワードを3～5つ挙げ、1分程度で概要を説明できるようにする。
4. 資料として引用できそうなところをメモしておく。
5. s4探究演習(メディア情報4)「#02 課題(資料収集)」に指示通り書き込む。

締め切り：10月18日(日)

次回

第1回	大型望遠鏡計画とハワイ先住民
第2回	ディベートの方法
第3回	ディベートの準備(1)立論、反駁、尋問
第4回	ディベートの準備(2)資料収集
第5回	ディベートの準備(3)立論の準備
第6回	ディベートの実施 大型望遠鏡建設について
第7回	宇宙を理解する手法、観測計画の立て方
第8回	データ分析方法 データデータベースの使い方
第9回	問題解決の技術、プレゼンテーションの方法
第10回	プレゼンテーションの準備(1)データ分析
第11回	プレゼンテーションの準備(2)資料の収集
第12回	プレゼンテーションの準備(3)発表練習
第13回	発表会観測計画の発表